

日本で初めて鉄軌道事業を含む企業グループとして 「RE100」に加盟

省エネと再エネ(※1)の最適利用を通じた低炭素、脱炭素社会への貢献

当社は、2019年10月25日、再生可能エネルギーに関する国際イニシアティブ「RE100」に加盟しました。RE100加盟は、日本の鉄軌道事業を含む企業グループとしては初となります。

RE100は、国際的な NGO「クライメイト・グループ」(※2)が、「CDP」(※3)とのパートナーシップのもと運営する、再生可能エネルギー100%に取り組んでいるグローバルに影響のある企業を連合したイニシアティブです。

影響力の大きい企業群による、グローバルな協働イニシアティブを通じて、企業の再生可能エネルギー需要・供給の大幅拡大を目指し、すべての企業活動を100%再生可能エネルギー化することで、世界の炭素排出量の約15%削減を目標としています。

当社では、東急グループのスローガンである「美しい時代へ」を普遍的な価値基準と認識し、事業を通じた社会課題解決と事業成長の両立を目指しています。2018年度からは、中期3か年経営計画において、6つの「サステナブル重要テーマ」を特定して取り組んでおり、その一つである「低炭素・循環型社会」の実現に向けて、目指す姿として、「省エネと再エネの最適利用を通じた低炭素、脱炭素社会への貢献」を掲げています。また、より長期的な目標を明確化するものとして、本年9月2日に発表した長期経営構想の中で、「長期環境目標」を設定しました。

「長期環境目標(CO2 排出量)」

2050年までに事業で使用する電力を再生可能エネルギー100%で調達する

〔電力使用による CO2〕 2030年:排出総量30%削減

2050年:排出総量ゼロ

*対象は Scope 1、2 基準年は、鉄道事業(東急線); 2010年 不動産事業その他; 2015年

当社はこれまでも、再生可能エネルギー100%による世田谷線の運行開始、および南町田グランベリーパークの環境認証制度「LEED ND(まちづくり部門)」ゴールド予備認証取得など、環境への取り組みを行っています。

今後も、さまざまな取り組みにより環境経営を推進し、「低炭素・循環型社会」の実現に貢献していきます。



【「RE100」統括責任者 サム・キムス氏のコメント】

「私たちは、東急株式会社が長期環境目標を設定し、鉄道会社として初めてRE100に加盟したことを歓迎します。東急が日本における低炭素社会の実現を推進し、特に運輸部門においてリーダーシップを発揮していることを大変嬉しく思います。」

以上

【参考】

※1「再エネ」

再生可能エネルギー源の略：太陽光、風力、水力、バイオマス（含むバイオガス）、地熱などの非化石エネルギーであり、永続的に利用可能なエネルギー源

※2「クライメイトグループ」(The Climate Group)

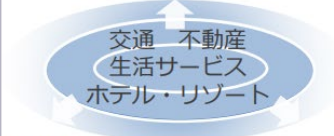
2004年に設立された英国に本部を構える NGO で、ニューヨークとニューデリーにも拠点を置き、独自の広報活動で気候変動対策を進めている

※3「CDP」

気候変動など環境分野に取り組む国際 NGO で、2000年に設立されたプロジェクト「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト」がその前身となっている。機関投資家が関心のある気候変動関連情報を収集、開示する活動を行っており、2013年に組織名称を「CDP」に正式に変更

■中期3か年経営計画 基本方針

3つのサステナビリティ

サステナブルな「街づくり」	サステナブルな「企業づくり」	サステナブルな「人づくり」
 ■社会への視点： 新たな街づくりへの挑戦、街の発展・活性化への継続的取り組み ■組織内の視点： 100年前から脈々と流れる、当社の街づくりDNAの継承	 ■社会への視点： ステークホルダー（顧客、株主、取引先等）への継続的な価値提供 ■組織内の視点： 環境変化や社会ニーズに適応した事業の開発と成長	 ■社会への視点： 保育、教育、文化活動を通じた社会における人づくりの支援 ■組織内の視点： 経営人材の育成、イノベーション創出の風土醸成、技術の伝承、ダイバーシティと健康経営の深化

■長期経営構想 サステナブル重要テーマごとの目指す姿

サステナブル重要テーマ	関連するSDGs	2030年に向けて目指す姿
安全・安心	8：働きがい 経済成長 9：産業と技術革新の基盤 11：住み続けられるまちづくり	・日本で最も安全で利用しやすい公共交通サービスの実現 ・誰もが安心して暮らせる生活環境の提供
まちづくり	9：産業と技術革新の基盤 11：住み続けられるまちづくり 12：つくる責任 つかう責任 13：気候変動対策 17：パートナーシップ	・「住む」「遊ぶ」「働く」が揃った個性的で魅力ある都市経営の実現 ・東急沿線まちづくりノウハウの国内拠点エリア、海外への拡大
生活環境品質	3：健康と福祉 4：質の高い教育 9：産業と技術革新の基盤	・元気で自分らしく活き活きできる暮らしの実現
ひとづくり	3：健康と福祉 4：質の高い教育 5：ジェンダー平等 8：働きがい 経済成長	・「誰もが働き続けたい会社」の実現 ・教育、文化、環境活動などを通じた社会におけるひとづくりの推進
低炭素・循環型社会	7：クリーンエネルギー 12：つくる責任 つかう責任 13：気候変動対策 15：陸の豊かさ	・省エネと再エネの最適利用を通じた低炭素、脱炭素社会への貢献 ・資源の有効利用と生態系配慮の推進による循環型社会への貢献
企業統治 コンプライアンス	9：産業と技術革新の基盤 16：平和と公正	・社会やグローバルな経営環境に直結した最良のコーポレートガバナンスの実現 ・「調和ある社会」の実現にむけたコンプライアンスの実践

■最近の環境に関する主な取り組み

○日本初*、再生可能エネルギー100%による世田谷線の運行開始

東北電力株式会社、株式会社東急パワーサプライの協力により、水力および地熱のみで発電した再生可能エネルギー100%による世田谷線の運行を2019年3月25日より開始しました。本取り組みは、日本初の再生可能エネルギー100%による通年・全列車の都市型鉄軌道線の運行であり、都市型通勤電車において“日本初の二酸化炭素排出量ゼロで走る電車”となります。

<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20190325-1-1.pdf>

*当社、東北電力、東急パワーサプライの3社合同による取組事例調査の結果

○南町田グランベリーパークが国際的な環境認証制度「LEED ND(まちづくり部門)」にて、ゴールド予備認証取得

町田市および当社は、2019年11月にまちびらき予定の「南町田グランベリーパーク」において、歩行者ネットワークの整備や、グリーンインフラを生かしたランドスケープデザインが評価され、複合的なエリア開発を対象とした国際的な環境認証制度である「LEED ND(まちづくり部門)」の、ゴールド予備認証を取得しました。認証エリア内に駅を含むゴールド予備認証取得は、日本初となります。

<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20190116-1.pdf>

当社のサステナビリティの取り組み : <https://www.tokyu.co.jp/company/csr/index.html>